

# ”王寺っ子の夢と希望をかなえる学校“ 【仮称】王寺義務教育学校（北）新校舎実施設計 概要版

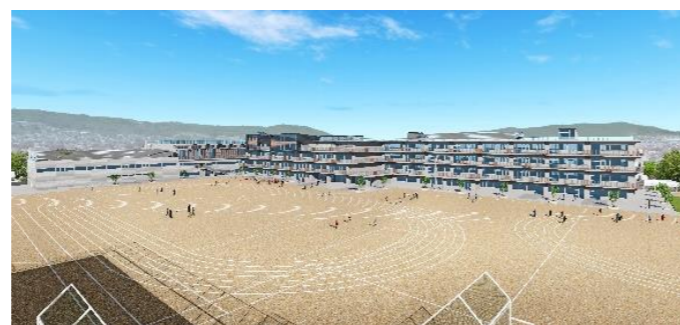
令和元年 12 月 王寺町教育委員会

## 1 新校舎建設について

平成30年3月に策定した「【仮称】王寺義務教育学校（北）建設における基本計画」をもとに、学識経験者や住民代表、学校関係者などの委員で構成する「義務教育学校推進委員会」において、施設・設備プロジェクトチームを中心に、調査研究を行い、現場の教職員から十分意見を聴きながら、「【仮称】王寺義務教育学校（北）基本・実施設計」をまとめました。令和4年4月開校を目指し、「王寺っ子の夢と希望をかなえる学校」として、9年間一貫した特色ある教育を展開できる学校整備を進めます。



鳥瞰図イメージ



南側からのイメージ



北側からのイメージ

## 2 新校舎の特徴

### ◇交流・連携を促す工夫

• メディアセンターとランチルームを児童生徒が利用しやすい昇降口付近に設け、行き来する子どもたちを大階段でつなぎ異学年交流を図ります。

• 各学年ユニット（4-3-2）の学年区分をベースに設けた多目的スペースや多目的教室により、多様な学習形態に対応する学年交流空間を創造します。

• 特別教室は、関連性の高い教科を同一階に集約し、学年間や教師間の交流、連携を生み出します。

• 地域とともにある学校づくりの拠点として地域住民等との交流の場を整備します。



大階段吹抜のイメージ



多目的スペースのイメージ



メディアセンターのイメージ



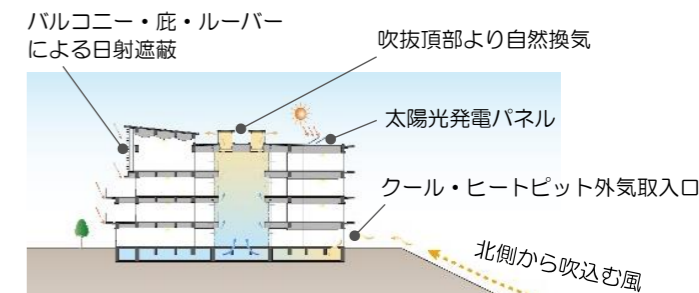
ランチルームのイメージ

### ◇快適な学習環境と省エネ

- 普通教室は、全て南向きの明るく快適な教室とします。
- 学習環境の充実を図るため将来を見越したICT環境を整備します。
- 校舎中央の吹抜には、トップライトを設け、自然採光・自然換気を促進し、明るく風通しの良い校舎として計画します。
- クール・ヒートピットによる換気・温度緩和や太陽光発電による自然エネルギーを活用した計画とします。



普通教室のイメージ



環境断面のイメージ



屋内運動場（大）のイメージ

### ◇安全と災害への備え

- 様々な子どもたちの日常生活の安全性と使いやすさから、バリアフリーへの配慮、ユニバーサルデザインを採用します。
- 施設全体の防犯対策として、門扉やフェンスによる学校境界の可視化、監視カメラなどによる防犯機能を備えます。
- 職員室や教師ステーションの配置により、複数の視点で日常的に子どもたちの生活を見守る工夫を行います。
- 屋内運動場棟を避難施設として利用できる計画とし、災害発生から復旧までの各段階に応じて最適な防災拠点機能を確保します。

## 3 建物概要

- ◇用途 義務教育学校及び給食センター
- ◇構造・規模 校舎棟：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 4階  
屋内運動場棟：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階  
給食施設棟：鉄骨造 2階
- ◇建築面積 約 6,410㎡
- ◇延床面積 約 17,979㎡
- ◇施設概要
  - 校舎棟 約 13,228㎡（最高高さ 17.34m）  
普通教室：42 教室（多目的教室含む） 特別支援教室 多目的スペース：11 教室  
特別教室：13 教室（理科教室、美術教室、音楽教室、メディアセンター、ランチルーム等）  
管理諸室：職員室、校長室、保健室、地域交流室、相談室等
  - 屋内運動場棟 約 2,941㎡  
屋内運動場（大・中・小）、部室等
  - 給食施設棟 約 1,759㎡ 調理室、給食管理諸室、学童保育室等
  - その他 約 51㎡ 付属棟（体育倉庫）、ごみ置場、駐輪場

## 4 事業スケジュール

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本計画	基本設計 実施設計	一次造成工事	新築工事		解体・二次造成工事	

◆開校